

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	第3学年	開講	通年	必修	4単位
学習目標	第2学年で学んだことをふまえ、英文を読み理解し伝えることをさらに深める。教科書だけでなく、英語の小説や新聞を通して、様々な話題に触れる。					

教科書： CROWN English CommunicationⅢ New Edition

副教材： 総合英語 Evergreen

学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点			
前期		1: Life as a Journey	遍路の旅を通して数々の名句を詠んだ松尾芭蕉の足跡をたどりながら、その作品を鑑賞して日本の自然美を味わい、また人生において旅の持つ意味について考える。	日本語と英語で表現される俳句を鑑賞し、その違いを味わう。 日本の雄大な自然に心動かされた芭蕉に共感し、自分の感情をことばで表す。 旅の厳しさと素晴らしさ、また旅が人生に与える影響について考え、意見を述べる。	4	中間	○	○	○	
		2: God's Hands	「神の手」を持つと言われる医師・天野庵が経験した幾度もの挫折と不断の努力を知り、ひとつの事を究めることの大切さを学ぶ。また、将来の職業について考える。	天野庵医師がこれまでに経験した苦難の体験を読み取らせる。 「天才」と呼ばれる人の陰の努力の大きさに気づかせる。 判断の早さや的確さは経験に裏打ちされることを知る。 医師や医療の在り方についての自分の意見を発表する。 「人生における成功」について考え、発表させる。	5		○	○	○	
		3: Captured by Art	インスタレーションアートの例を鑑賞しながら、新しい視点で物事を捉えるきっかけをもたらすという芸術の側面について考える。	美術館ではなく街中に現れるインスタレーションアートを楽しみ、さらにそのアーティストが目指していることを読み取る。 アートの定義について考えさせる。 アートの目的や意義について考え、発表させる。	6		○	○	○	
		RS: Zip Lines	スキミング、スキヤニング	旅行のオプションツアーを申し込む活動を通し、情報を読み取り、ニーズに合うものを選択させる。	6		○	○	○	
		4: Does Money make You Mean?	経済状況の違いは人の行動や感情に影響を及ぼすのか。社会心理学実験を通して、世界に広がる経済格差の問題について考える。	「ホール・ピフ」がおこなった実験の内容と結果をの概要や要点を正しく読み取る。 経済状況の違いが人の行動に影響を及ぼすかどうか考え、発表させる。 世界の経済格差の問題の改善策を話し合う。	7		期末	○	○	○
		5: The Busiest Event in Human History...or the Last?	急速に発達を遂げるAI（人工知能）について学びながら、AIの持つ可能性と危険性、また人類とAIの未来について考える。	AIの現状を知り、今後期待される可能性について考える。 AIが人間にもたらす利点と脅威について学ぶ。 AIとの共存のために人がすべきことを考え、発表させる。	7			○	○	○
前期 授業評価							○	○	○	
後期		6: Only a Camera Lens between Us	DDR（武装解除・動員解除・社会復帰）に携わる瀬谷ルミ子の活動を通して、平和のあり方と、その平和にどのような貢献できるかについて考える。	瀬谷ルミ子が現在の道に進むきっかけとなった出来事を読み取らせる。 紛争後の平和構築における行程で必要なこと、大切なことを読み取らせる。 社会貢献のあり方について考えさせる。単に「助ける」ことが貢献でないことを理解させる。	9	期末	○	○	○	
		7: Being Bilingual	ドイツ語・フランス語の言語についての文章を読む。複数言語併用の現実や言語の統制・抑圧の事例などを通して、自分自身および他者の母語の大切さを知る。	日本にいると気づきにくい、世界の二言語併用の現実について理解させる。 母語をめぐって血が流された歴史を知り、それがアイデンティティーに関わる問題だと理解させる。 日本で英語を公用語にすることや、日本で各言語のサービスを行うことについて、自分の意見を発表させる。	10		○	○	○	
		RS: Traveling to Cappadocia	スキミング、スキヤニング	複数のホテルの施設や価格、宿泊者の評価などを比較させ、宿泊先を選ばせる。	11		○	○	○	
		8: Magic of Reality	リチャード・ドーキンスの科学エッセイを読む。不思議な事象と人々の反応の事例を通して、物事を科学的に考えることの意義を知る。	不思議な出来事に出会ったときにすべき判断の基準を正確に読み取らせ、またそうした態度が科学の発展に寄与してきたことを理解させる。 科学と「真実」の関係についての自分の意見を発表させる。 世間で一般的に信じられていたことに反論した人物について学ぶ。	12		○	○	○	
		9: Green Revolution Blue Revolution	世界を襲う水危機について考える。自身が消費している「ヴァーチャルウォーター」について知り、環境保護のあり方考える。	食料危機から水危機への流れを把握させる。 世界の水危機について理解させる。 ヴァーチャルウォーターの概念と、その輸出入の利点を理解させる。 水危機の解決法、また他の危機について話し合う。	1		○	○	○	
		10: Looking into the Eye of History	2016年5月、現職の米大統領として初めて被爆地・広島を訪れた、バラク・オバマ氏によるスピーチを読む。	スピーチのこぼれ表現を鑑賞させる。 オバマ氏の平和に対する思いを読み取らせる。 スピーチを読み、感じたことを話し合う。	1		○	○	○	
後期 授業評価							○	○	○	

評価の観点	・「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ学習内容を踏まえ、ことばの学習を通じて、思考力、表現力の育成を促し、豊かな言語観を育成する。世界の中の日本、世界の中の自分を知ることで、異なる文化を尊重する心を育むとともに、英語の学習を通じて、自らの力で考え、判断し、表現する力を身に付けているか。
評価方法	・定期考査・英単語テスト、および課題等提出物、授業の取り組み、出席状況などから総合的に評価